

# 北海道ブロック クラブネットワークアクション

次代のスポーツ環境を考える

～しくみづくりと人づくり～

スポーツは挑戦、勇気、感動を持っている

---

NPO法人七瀬の里Nクラブ

理事長 森 慎一郎

# NPO法人七瀬の里Nクラブ(通称:Nスポーツクラブ)について

<https://nspo-oita.com/>

2004年創立 会員数700名 年間運営費約**6000万円**

クラブハウス(380㎡)、硬式野球場、サッカー場、テニスコートを所有。宿泊施設、塾などに利活用。市営宿泊施設を指定管理(年間売上**4000万円**)プロ野球独立リーグ球団の設立、2022年を目途に四国アイランドリーグへの参入を検討していた中、九州リーグの立ち上げの話が浮上し、2021年参画する。



# Nスポランド構想

## 野津原地区内の農地（I種農地）をスポーツ公園化

グラウンドゴルフ、野球、サッカーが楽しめる  
芝生グラウンドの整備（180m×100m）

クラブハウスの建設（12m×30m 360㎡）

（広いフロア、喫茶室、トレーニング室、小体育室、シャワー室）

・資金 スポーツ振興くじの助成4/5の助成

事業費 **1億2000万円規模**（自己資金4000万円、toto助成8000万円）

# クラブハウス内のフィットネスルーム





# 運動後に食事を楽しむ会員





# 両翼92mの野球場(外野天然芝)





# 砂入り人工芝テニスコート2面 2016年6月オープン



建設事業費 約1000万円

# 少年育成部の指導体制

サークル名	指導者数	体制	有償指導者数
Nspoななせ(硬式テニス)	4名	部活動	0
七瀬ボーイズ(中学野球)	11名	クラブ	0
七瀬フューチャーズ(小学生バスケ)	6名	スポーツ少年団	0
ななせ陸上(小中高)	2名	スポーツ少年団	1名
エラン横瀬U12(サッカー)	12名	スポーツ少年団	0
アーネストテニス(小中高)	2名	スクール	2名
(新設)バドミントン	3名	部活動	1名
フォレストゼミナール	4名	学習塾	1名
合計	44名		5名



**参加料について 2,431,920円 (コロナ前)**

イベント	天空の広場スポーツデー	小学生対象 誰でも	462,980円
大会	野津原地区スポーツ大会 めじろんカップテニス大会 七瀬リーグ(軟式野球) ななせの里大会(硬式野球) 総合型クラブ対抗硬式野球大会	自治区対抗 中学生 ヤング、シニアの部 中学生 中学3年生	795,100円
参加料(高齢者)	景勝地サークル 貯筋運動教室 フィットネスルーム ボールエクササイズ	420,370円 22,100円 395,600円 86,070円	1,173,840円
参加料 (少年、成人)	ジュニアテニス教室 テニス(E級パラダイス)	148,200円 101,500円	

# 月会費について

# 17,303,182円 (コロナ前)

高齢者会員	生き生き元気教室 フォークダンス 太極拳 グラウンドゴルフ	65歳以上 50歳代～80歳代 50歳代～80歳代 自治区チーム	625,650円
成人会員	バレーボールサークル ミニバレーサークル サッカーO-35 フィットネスルーム	高校生～40歳代 30歳～60歳代 35歳～50歳代 50歳～80歳代	321,300円
法人会員	大分デバイステクノロジー(株)	地元企業 1人月額200円 100名×200円	200,000円
少年会員	現金 大分カード(クレジット) ソニーペイメント(クレジット) 大銀代金回収サービス	1,142,470円 2,729,760円 10,538,160円 1,745,842円	16,156,232円 <b>93%</b>



# 委託料について 1,504,200円 (コロナ前)

ボランティア 団体	生きがいクラブ 設立12年	独居老人送迎付きお 楽しみ事業 (月6回開催)	504,000円
大分市	ウォーキング大会(ダム関連) 野津原運動場の管理	285,400円 410,000円	695,400円
法人会員	大分デバイステクノロジー(株)	地元企業 1人月額200円 100名×200円	200,000円
派遣指導料	高齢者サロン、児童クラブ ふるさと祭り(子ども広場)	41,800円 63,000円	104,800円

# OUR MISSION(大分球団の使命)

「野球県おおいた」県民に夢と勇気を与え、子ども達の夢の実現をサポート

NPB、MLB入団へ挑戦する選手の夢実現への環境づくりとキャリア形成

大分県の貴重な人材として活躍する若者の育成

年間運営費 8000万円程度



# リーグ体制 2022年シーズン

日本独立リーグ機構



九州アジアリーグ



正会員

火の国サラマンダーズ

大分Bリングス

北九州フェニックス

宮崎サンシャインズ



交流提携



福岡ソフトバンクホークス



# 内川聖一選手 24





# 国の動向（1）

運動部活動の地域移行に関する検討会議提言の概要  
R5年～R7年を地域移行に向けた改革推進期間！

[具体的課題への対応]  
スポーツ団体等の整備充実など



# 国の動向 (2)

2023年度予算概算要求

地域スポーツクラブ活動体制整備事業 **24億円**

2024年度予算概算要求

地域スポーツクラブ活動体制整備事業 **42億円**

経済産業省 地域×スポーツクラブ産業研究会 最終提言

**「未来のブカツ」ビジョン**

# 中学校部活動の今後

- **文科省**はR5(2023年)より、土日の部活動指導を学校教職員が行わないことを全国展開していくことを公表した。

※部活動(スポーツ・文化活動)は先生が行うべき業務ではない

**R5年～R7年を地域移行に向けた改革推進期間!**

- **大分県**は将来的には地域部活動へ移行していく方向性を打ち出している。

(2021年より2年間の事業) ※2022年4月より完全移行

朝地中学校 → 朝地フレンズクラブ

野津原中学校 → 七瀬の里Nクラブ

# 公営から民営へ or 公営から公営

～持続性と成長～

## 持続性の確保

財政力、人材力、経営力

## 発展性の期待

成長力、動機づけ、意欲向上、サービス向上

## 地域力向上の仕組み

支援体制の構築、寄付文化の醸成、  
ボランティアの日常化



# 部活動の経済的影響

◎全国、部活動加入生徒 約190万人

(部活動の会費を月額 3000円にした場合)

190万人 × 3000円 = 月額57億円

年間680億円の会費が生まれる。

※大分県の場合 1.8万人 × 36,000円 = 年間6.5億円

◎大分県中学生600人エリアに1つ50のクラブを創設した場合

1クラブ約1200万円の会費収入(2名の指導者 & 事務員の雇用)

※会費負担が厳しい家庭は就学援助の制度を適用

# 大分県の小中学生の統括組織の設立

各プロスポーツ団体  
 ・指導者派遣  
 ・イベント開催

**(一社)大分県ジュニア文化スポーツ育成振興会**  
 会長(1名) 副会長(2名)  
 理事25名程度 理事長(事務局長)

・行政  
 ・経済界

## 振興会メンバー構成

立場	人数
市議員、県議員	5名
会社経営者	3名
プロスポーツ団体代表	4名
地域スポーツクラブ	3名
競技団体代表	4名
元中体連、元中体連会長	2名
元中学校文化連盟会長	2名

指導者部会  
 ・登録、仲介、マッチング  
 ・研修会、資格制度

大会イベント部会  
 ・競技団体との調整  
 ・中体連からの移行

登録・認証

施設料減免、支援金

[各地域スポーツクラブ]県内50クラブの設立  
 県内(中学生1000名在住程度のエリアに1クラブ)  
 ・小学生、中学生が会員  
 ・小学3年生まで総合的スポーツ、野外活動(運動の楽しさ体得)  
 ・小学4年生から種目(専門的競技へ)  
 ・競技志向、レクリエーション志向など多様性の確保

青少年クラブの指導的存在

青少年クラブの設立支援

# 大分県の小中学生文化スポーツの統括組織の設立

各プロスポーツ団体  
・指導者派遣  
・イベント開催

**(一社)大分県ジュニア文化スポーツ育成振興会**  
会長(1名) 副会長(2名)  
理事25名程度 理事長(事務局長)

行政  
経済界

協賛金  
2000万円

2022.10月26日設立

感謝の輪

感謝の輪

指導者部会  
・登録、仲介、マッチング  
・研修会、資格制度

大会イベント部会  
・競技団体との調整  
・中体連からの移行  
・大会冠スポンサーの獲得

登録・認証

施設料減免、支援金

総合型地域スポーツクラブ  
(16年の経験)県内に42  
・マネジメント能力  
・コーディネーター能力  
クラブマネジャーの活用

[各地域スポーツクラブ]県内50クラブの設立  
県内(中学生600名在住程度のエリアに1クラブ)  
・小学生、中学生が会員  
・小学3年生まで総合的スポーツ、野外活動(運動の楽しさ体得)  
・小学4年生から種目(専門的競技へ)  
・競技志向、レクレーション志向など多様性の確保



# 大分県ジュニア文化スポーツ育成振興会の3つの柱

地域

子どもの食と体への  
支援

- ・経済的困窮の家庭の子どもの食の支援（例グッドごはん）
- ・地域こども食堂との連携と支援

地域ジュニア文化スポーツの指導者育成支援

- ・新規ジュニアスポーツ指導者、スタッフの入口整備
- ・ジュニアスポーツ指導者育成制度の構築
- ・ジュニアスポーツ指導者の研修制度の構築

地域ジュニア文化スポーツの受け皿作り

- ・継続性のある既存クラブの発展、新設クラブ設置
- ・3年間の支援期間（経営支援、助言、調査、研究）
- ・全国的ネットワークの活用（情報共有）

地域

# 現状と将来像

## 大分県の現状

生徒数 29624人(男15143 女14481)

教員数 2524人(内教諭は1884人)

### 運動部活動

加盟校 126校

加入人数 18023人(男10437人 女7586人)

### 部活生の状況

(男子最多)軟式野球部員 1800人

(女子最多)ソフトテニス部員 1769人

(男女最多)ソフトテニス部員 3493人

外部指導者登録者 397名

(最多)ソフトテニス 42名

部活指導員(準公務員) 64名

(最多)バスケットボール 12名



## 地域ジュニア文化スポーツ団体

県内に50団体を設立(1団体平均生徒数 580人)

1団体の予算規模 当面は年間1500万円(職員2名程度)

### 予想される主体事業主

- ・総合型地域スポーツクラブ
- ・学校法人
- ・コミュニティスクール
- ・自治体(公設クラブ)
- ・企業

## 将来像

- ・幼児から高齢者まで対象の総合型クラブ
- ・地域の小中高校生の文化スポーツクラブ
- ・非営利団体として地域の課題を解決する団体
- ・新たな公共(地域のコミュニティ)

1団体の予算規模 5年後は年間3000万円